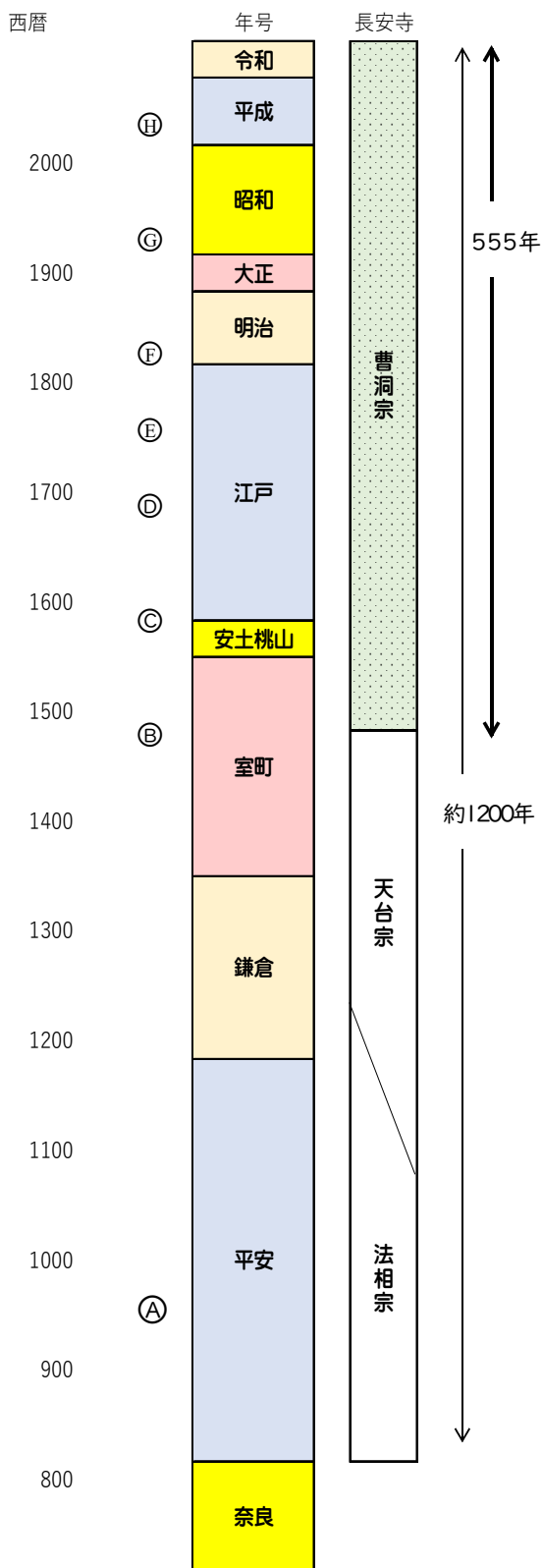




“源溪山だより” 555

https://chouanji.p-kit.com/ 令和8年3月③
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆永い歴史を重ねています

曹洞宗としての長安寺は、555年の年月を重ねてきました。

その歴史は、^{むさしのぐに}武蔵国(現埼玉県熊谷市)文殊寺2世季雲永岳禪師が来錫されたとされる文明3年(1471年)に始まります。

そのころは、応仁元年から文明9年までの約11年にわたった応仁の乱の最中です。信長生誕の60年ほど前、本年の大河ドラマの主人公豊臣秀長生誕の70年ほど前となります。

さかのぼりますが、長安寺が^{ほっそうしゅう}法相宗寺院としてこの地に開創されたのは、平安時代2番目の年号である大同年間(806~809年)と伝わっています。約1200年ほど前にお寺が建ち、さらに驚くことにその境内には七堂伽藍があったと書かれています。

法相宗の間は尼寺が続いたようです。9代比丘尼の時、清聖院帳源法師が住職となり天台宗に改宗されたと伝わりますが、その時期は現時点では判明できていません。ただし近隣寺院の歴史から、平安時代末から鎌倉時代初め頃と推測されます。

山門に立ち、前方の山々など眺めるとき、^{いにしえ}古の人も同じ景色を見ていたかと思うと感慨深く、縁あって現在住職をあずかるものとして気が引き締まる思いです。

- 〔左表中の記号の説明〕
- ① 本堂瓦屋根葺き替え
 - ② 本堂屋根瓦葺き改修
 - ③ 現在の本堂造立(茅葺)
 - ④ 大般若経、灯籠など(寺報No. 205 他)
 - ⑤ 本堂再造立(現須弥壇は⑤の時のもの)
 - ⑥ 御開山季雲永岳禪師来錫
 - ⑦ 尼寺として数代続く